

七十七の地域貢献

～地域社会への貢献と「地域密着型金融の推進」～

〔平成20年3月期 中間〕

平成19年4月1日～平成19年9月30日



七十七銀行

目 次

1. 地域貢献に関する考え方…………… 1
2. 地域密着型金融の推進…………… 2
3. 地域への信用供与の状況…………… 3
 - (1) 貸出業務全般
 - (2) 中小企業向け貸出業務
 - (3) 個人向け貸出業務
4. 地域のお客さまへの
利便性提供の状況……………11
 - (1) 店舗網等各種チャネルの整備
 - (2) 預金業務等
 - (3) 決済サービス
 - (4) その他のサービス
5. 地域経済活性化への取組状況……………21
 - (1) 地元企業のサポート
 - (2) 企業の育成への取組み
 - (3) 地方公共団体の事業との関係
6. 地域社会への各種支援活動の状況…28

七十七銀行は、宮城県のリーディングバンクとして、明治11年の創業以来永きにわたり地域の皆さまとともに歩んでまいりました。昭和36年に経営の基本理念として制定し、現在も行動の規範として役職員に浸透している「行是」では、「自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する」旨を謳っており、また「奉仕の精神の高揚」を第一に掲げて、地域社会の繁栄のために奉仕する姿勢を説いております。

行 是

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行ない、もって国民経済の発展に寄与することである。

この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。

以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものよるべき軌範を定める。

一. 奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一. 信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一. 和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

七十七銀行は、こうした基本理念のもと、地域社会の持続的な発展のためにリーダーシップを発揮して、社会的責任を果たし地域社会と共生する企業となることを目指しております。

具体的には、地域経済の発展に寄与するために、地域への円滑な資金供給とお客さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っております。また、地域経済の活性化のために、企業活動のサポートや各種情報の提供を行っております。さらに、良き企業市民としての観点から、社会貢献活動も継続的に行っております。

七十七銀行は、「行是」の理念を全うするために、地域社会への貢献を積極的に行い、その内容を地域の皆さまに十分にご理解いただけるよう今後とも努力してまいります。

(注)当行にとっての「地域」とは、当行の主要な営業基盤である「宮城県」を念頭においております。

地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密な長いお付き合いの中で蓄積してきた情報を基に行っていく銀行取引」のことです。当行の地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方は、「1. 地域貢献に関する考え方」に記載した行是の理念そのものであり、行動の規範として役職員に深く浸透しています。

七十七銀行では、こうした基本理念に基づき、以下を中期経営計画に定めており、その実現に向け、これまで以上に地域社会の発展に貢献してまいります。

1. 目指す銀行像（中期経営計画「目指す銀行像」）

「地域と共に歩み、地域と共に発展する『ベストクオリティバンク』」

2. 地域・顧客とのリレーションシップの強化（中期経営計画「基本的な取組方針」より）

（1）地域との関わり

地域における営業基盤をより強固なものとし、「銀行業務を通じた地域貢献」を実践する。

（2）顧客との関わり

顧客満足度の向上により、顧客にとっての当行の価値向上を図り、常に「お客様にとってナンバーワンの銀行」をめざす。

地域密着型金融推進計画（平成19年度）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援機能等を強化します。

（平成19年度上半期の取組についてはP24をご覧ください）

目標：新事業支援実績件数：平成19年度 50件

事業再生・経営改善支援機能等を強化します。

（平成19年度上半期の取組についてはP23をご覧ください）

目標：事業再生ファンド活用実績件数：平成19年度 2件

セミナーや相談会の開催等による事業承継やM&Aへの取組を強化します。

（平成19年度上半期の取組についてはP17をご覧ください）

2. 事業を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底

資金調達手段多様化への取組を強化します。

（平成19年度上半期の取組についてはP6、7をご覧ください）

第三者保証の抑制に向けた取組を実施します。

（平成19年度上半期の取組についてはP7をご覧ください）

目標：無担保・第三者保証人不要融資商品実行額：平成19年度 300億円

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ビジネス商談会を開催します。

（平成19年度上半期の取組についてはP21をご覧ください）

目標：ビジネスマッチング情報提供件数：平成19年度 1,500件

「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」開催に向けた地域への支援を強化します。

（平成19年度上半期の取組についてはP21をご覧ください）

地域内で実施されるPFI案件等、地域開発案件へ積極的に対応します。

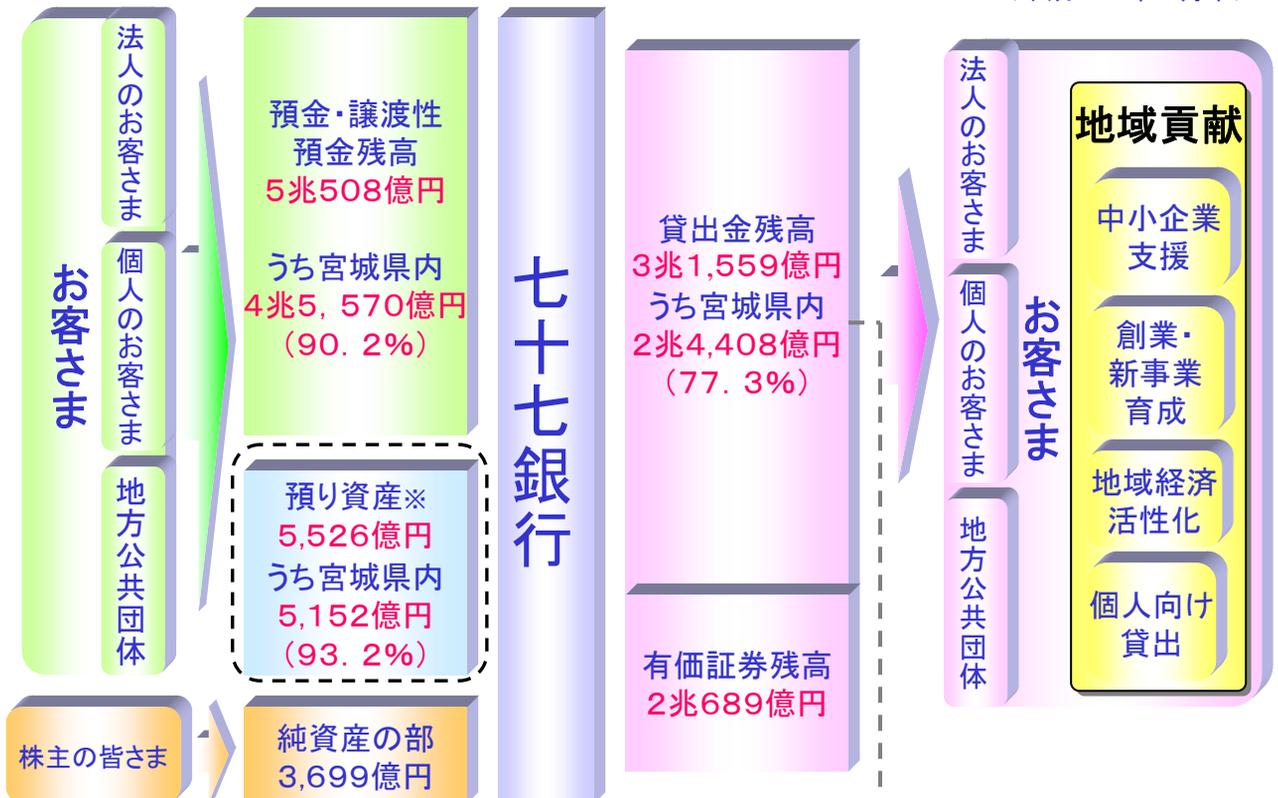
（平成19年度上半期の取組についてはP27をご覧ください）

(1) 貸出業務全般

七十七銀行は、融資審査に関する基本的行動指針として「クレジットポリシー」を定めています。その基本理念の第一に「地域の繁栄に貢献できる融資に心がけなければならない。」ことを掲げ、さらに「当行は地域社会と共存共栄であることを常に忘れず、円滑な資金供給を通じて、地域経済の発展と地元企業の育成に貢献するよう心がけなければならない。」としています。

当行は、この理念に基づき、利用者の皆さまからお預かりした預金等を、以下のように運用しています。

<平成19年9月末>



※「預り資産」は、外貨預金を除き当行の運用資産ではありません。

業種別貸出金の状況

貸出金について業種毎に宮城県内向けの割合をみると、残高ベースでは11業種中7業種において県内向け貸出が7割以上となっており、また、先数ベースでは金融・保険業を除く業種で県内向け貸出が8割を超えています。このように当行は、宮城県内それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

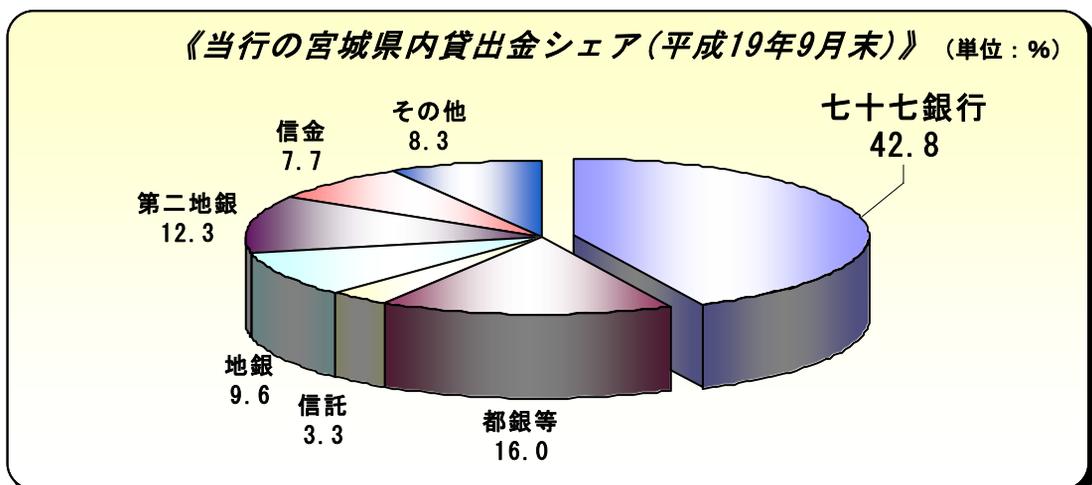
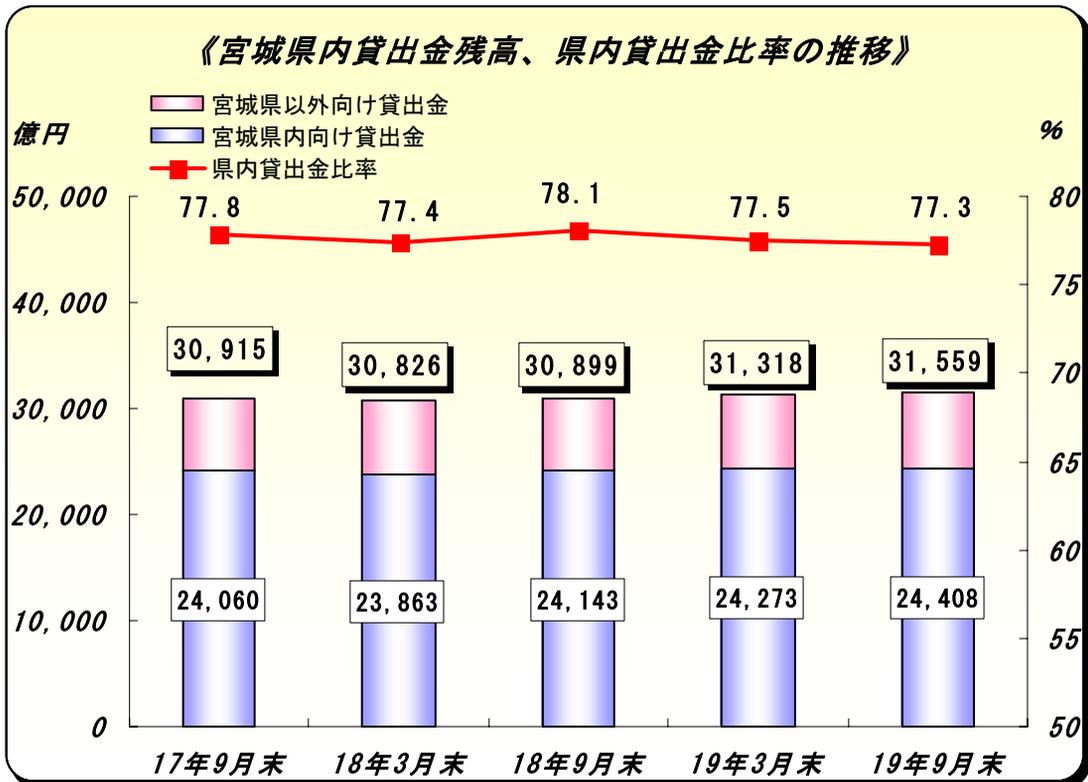
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち宮城県内向け		貸出先数	うち宮城県内向け	
			同比率			同比率
製造業・鉱業	2,583	1,532	59.3%	1,801	1,558	86.5%
農・林・漁業	118	108	91.4%	256	239	93.4%
建設業	1,428	1,302	91.1%	2,691	2,557	95.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	457	386	84.5%	53	50	94.3%
情報通信・運輸業	898	472	52.6%	585	518	88.5%
卸売・小売業	3,372	2,642	78.3%	3,452	3,124	90.5%
金融・保険業	2,694	385	14.3%	100	34	34.0%
不動産業	3,334	2,547	76.4%	2,707	2,477	91.5%
各種サービス業	3,684	2,374	64.4%	3,987	3,645	91.4%
地方公共団体	5,674	5,616	99.0%	53	47	88.7%
その他	7,317	7,044	96.3%	170,060	163,189	96.0%
合計	31,559	24,408	77.3%	185,745	177,438	95.5%

宮城県内向け貸出金の状況

県内景気は持ち直しの動きを続けております。こうしたなか、当行では地域のお客さまに対する資金供給に努めた結果、宮城県内向け貸出金は前年比265億円増加しました。

当行の貸出金のうち、約77%が宮城県内向け貸出となっており、宮城県内における当行の貸出金シェアは、42.8%と高水準を維持しています。



注: 農漁協は含まれておりません

(2) 中小企業向け貸出業務

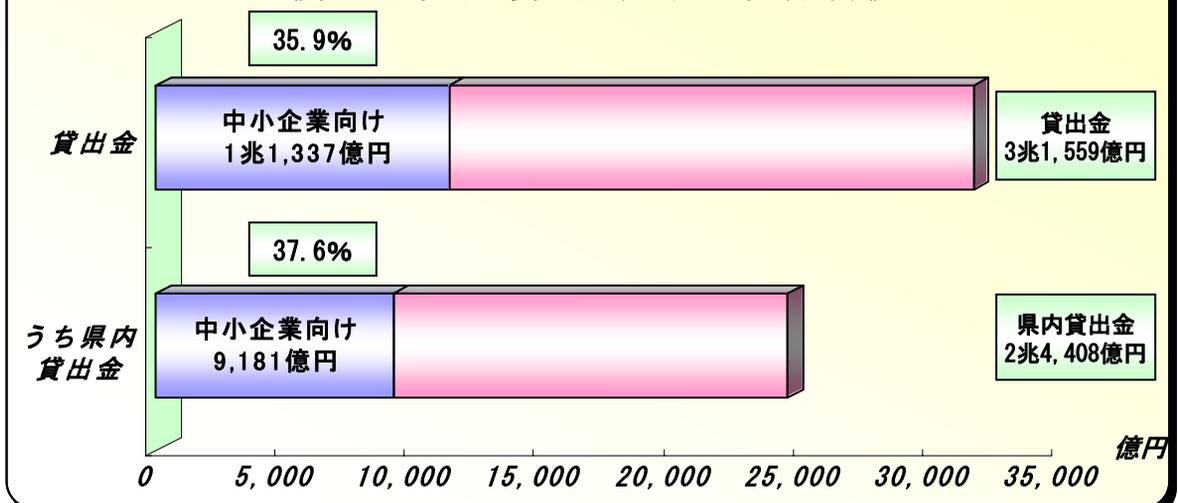
中小企業向け貸出の状況

当行の中小企業向け貸出比率は残高ベースで約36%となっております。また、宮城県内に限れば残高の約38%が中小企業向け貸出となっております。

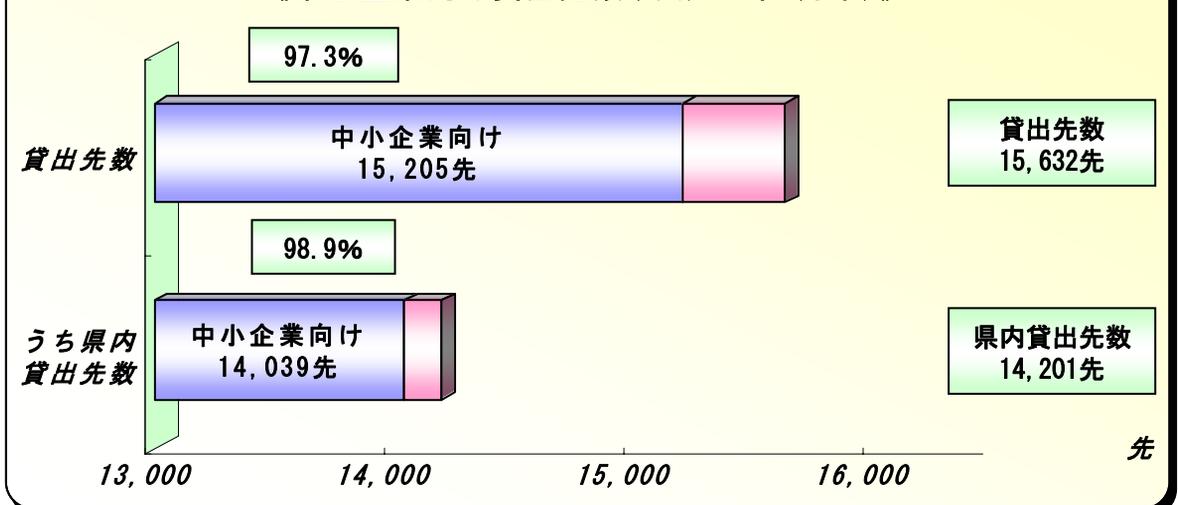
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち中小 企業向け		貸出先数 (個人、地方公 共団体除く)	うち中小 企業向け	
		同比率	同比率		同比率	同比率
平成18年9月末	30,899	12,120	39.2%	16,394	15,955	97.3%
うち宮城県内向け	24,143	9,937	41.2%	14,870	14,706	98.9%
平成19年9月末	31,559	11,337	35.9%	15,632	15,205	97.3%
うち宮城県内向け	24,408	9,181	37.6%	14,201	14,039	98.9%

《中小企業向け貸出金(平成19年9月末)》



《中小企業向け貸出先数(平成19年9月末)》

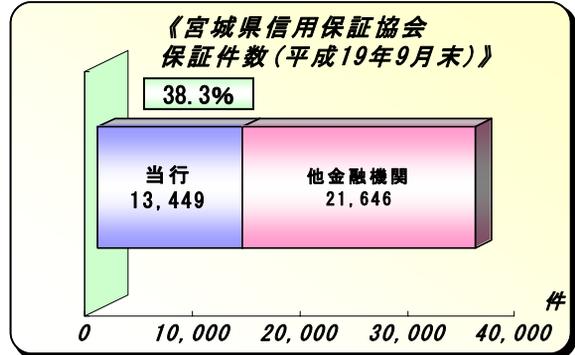
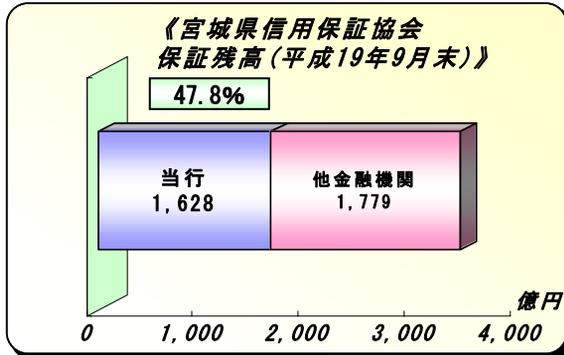


(参考)

宮城県内の従業者数300人未満の事業所数は105千事業所(総務省「事業所・企業統計調査報告:平成18年6月1日」)であり、当行は宮城県内中小企業のほぼ7社に1社に対して貸出を行っていることとなります。

宮城県信用保証協会保証付貸出への取組状況

当行は、宮城県信用保証協会と連携し同協会保証付貸出を推進しており、同協会保証付貸出の当行の取扱シェアは残高で約48%、件数で約38%となっています。



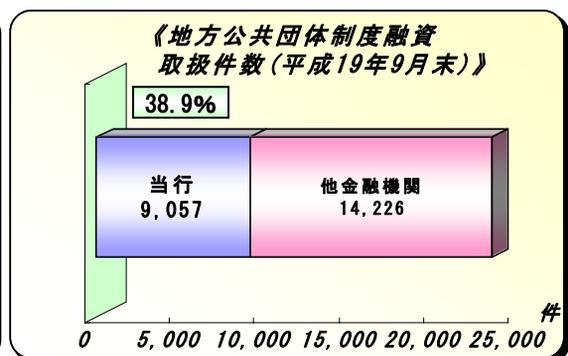
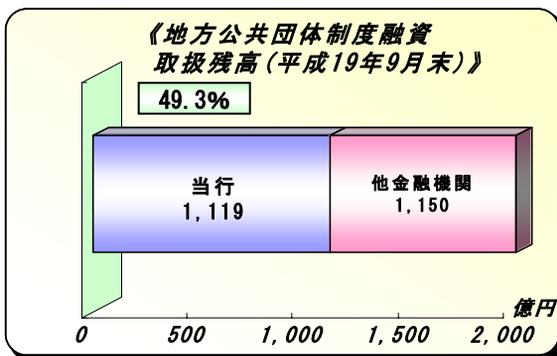
《主な保証協会保証付融資商品と当行取扱残高(平成19年9月末)》

商品名(制度名)	商品の概要等	取扱件数(件)	残高(億円)
事業者ローン(県信保口) (制度名:合理化資金保証)	宮城県内で3年以上同一事業を営み、銀行が特に推薦する中小企業にご融資します。	245	37
事業者ローン(クイックI・II) (制度名:エクスプレスI・ 小額エクスプレスI)	宮城県内で2年以上同一事業を営む中小企業を対象としています。融資諾否のスピード回答が特徴です。	204	25
中小企業特定社債保証	純資産が1億円以上の中小企業が発行する社債に銀行と共同保証します。なお、財務要件を満たす必要があります。	37	40
事業者カードローン(県信保口) (制度名:事業者カードローン 当座貸越根保証)	ご契約極度額の範囲内であれば、いつでも自由にお使いいただけます。	2,320	108

(注) 事業者カードローン残高は極度額

地方公共団体制度融資への取組状況

当行は、地方公共団体の制度融資を積極的に推進しており、当行の取扱シェアは残高で約49%、件数で約39%となっています。



《主な地方公共団体制度融資と当行取扱残高(平成19年9月末)》

商品名(制度名)	商品の概要等	取扱件数(件)	残高(億円)
宮城県中小企業経営安定資金	宮城県内の中小企業を対象とし、一般資金と売掛債権担保活用資金、セーフティネット資金に区分されます。	4,283	747
仙台市中小企業育成資金	仙台市内の中小企業を対象とし、振興資金と経済変動対策資金に区分されます。	2,522	248
市町村中小企業振興資金	市町村の制度要綱に基づき、市町村長が認める企業を対象とした制度融資です。	1,869	98

その他の中小企業向け融資商品

《主な融資商品と取扱状況（平成19年9月末）》

商品名	商品の概要等	取扱 件数 (件)	残 高	
			(億円)	県内 比率
77ビジネスローン 〈フォワード30〉	当行との融資取引1年以上の中小企業および医療法人のお客さまに、運転資金・設備資金としてご利用いただけます。申込を受付した翌営業日までに回答し、無担保・第三者保証人不要とするなど、「速さ」と「簡便さ」に重点を置いた、緊急の資金需要にも迅速に対応できる融資商品です。幅広いお客さまへのご融資を可能とした「ミドルリスク・ミドルリターン型商品」です。	936	59	92.5%
77ビジネスローン 〈アクティブ30〉	〈アクティブ30〉は当行と融資取引のあるお客さまに、〈アクティブ10〉は融資取引のないお客さまにご利用いただけます。いずれも「スピード回答」、「無担保・第三者保証人不要」など、「速さ」と「簡便さ」を特徴としています。また、融資期間は最長5年であり、運転資金・設備資金両方にご利用いただけます。 ※オリックス㈱の保証がご融資の際に必要になります。	1,055	63	90.2%
77ビジネスローン 〈アクティブ10〉		65	2	88.3%
77パートナー スペシャルファンド	一定の財務要件を満たす優良企業を対象とした取扱期間および取扱総額限定の商品です。融資期間中の財務指標の変化に応じて金利を変更する財務制限条項をつけており、同条項を活用することで担保・第三者保証人を不要とするとともに、低利の固定金利資金を提供しています。	620	295	85.4%
77パートナー チャレンジファンド	一定の財務要件を満たす中堅・中小企業を対象とした無担保・第三者保証人不要の固定金利商品です。	315	31	84.9%
事業者ローン 〈ランクアップ保証口〉	経営の改善や事業の再構築を図るお客さまに、無担保で幅広くご利用いただける宮城県信用保証協会との提携商品です。	63	13	100.0%
77アグリビジネス ローン 〈アクティブ〉	農業法人および農業を営む個人のお客さま向けの「スピード回答」「無担保・第三者保証人不要」のご融資で、運転資金・設備資金にご利用いただけます。 ※オリックス㈱の保証がご融資の際に必要になります。	11	0.3	100.0%
提携フラッシュ保証	宮城県内で事業を営まれ、従業員数が卸売業、小売業、飲食業、またはサービス業の場合は5名以下、その他の業種の場合には20名以下のお客さまに対し、無担保・第三者保証人不要で500万円まで迅速に対応できる宮城県信用保証協会との提携融資商品です。	12	0.2	100.0%

商品名	商品の概要等	取扱 件数 (件)	残 高	
			(億円)	県内 比率
私 募 債	「物上担保付私募債」、「県信保付私募債」、「銀行保証付私募債」の受託および引受を行っております。当行がその元利金支払を全額保証する「銀行保証付私募債」では、期日一括償還型のほか、定時償還型も取扱い、お取引先企業の資金調達ニーズに幅広くお応えしております。	118	155	91.7%

(3) 個人向け貸出業務

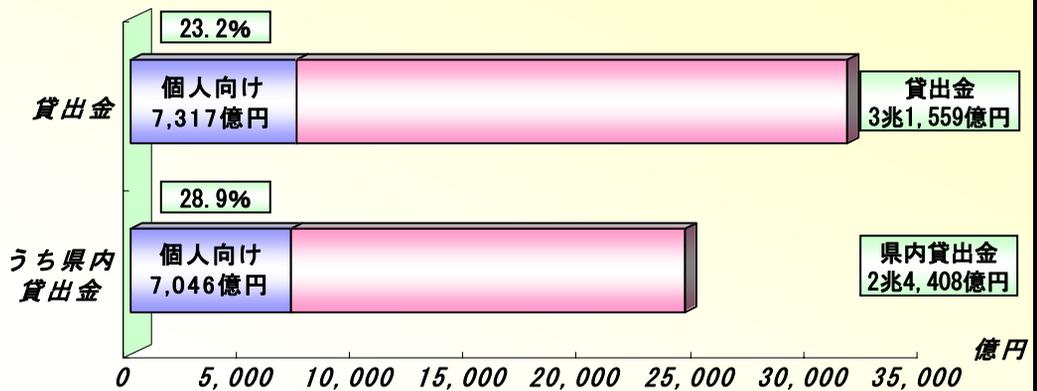
個人向け貸出の状況

当行の個人向け貸出比率は残高ベースで約23%となっております。また、宮城県内に限れば、残高の約29%が個人向けとなっております。

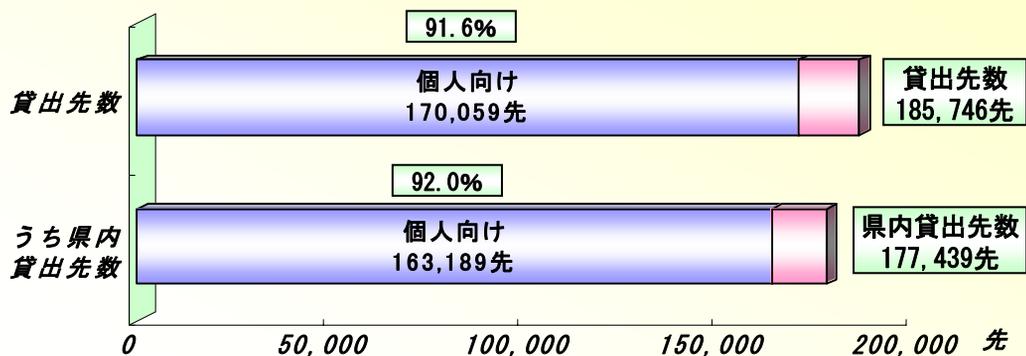
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち		貸出先数	うち	
		個人向け	同比率		個人向け	同比率
平成18年9月末	30,899	7,279	23.6%	189,495	173,052	91.3%
うち宮城県内向け	24,143	7,009	29.0%	180,846	165,932	91.8%
平成19年9月末	31,559	7,317	23.2%	185,746	170,059	91.6%
うち宮城県内向け	24,408	7,046	28.9%	177,439	163,189	92.0%

《個人向け貸出金残高(平成19年9月末)》



《個人向け貸出先数(平成19年9月末)》



住宅ローンの取扱状況

(単位：億円、件)

	住宅ローン 残高	うち		住宅ローン 件数	うち	
		県内向け	同比率		県内向け	同比率
平成18年9月末	6,231	6,035	96.9%	53,861	52,272	97.0%
平成19年9月末	6,339	6,140	96.9%	53,817	52,222	97.0%

(参考)

宮城県内の持ち家世帯数は504千世帯（総務省「住宅・土地統計調査報告：平成15年10月1日」）であり、当行は宮城県内持ち家世帯のほぼ10世帯に1世帯に対して貸出を行っていることとなります。

個人向け融資商品の取扱状況

《主な融資商品と取扱状況（平成19年9月末）》

商品名	商品の概要等	残高 (億円)	
		県内 比率	
住宅ローン	住宅の新築・増改築、建売住宅・マンション・土地の購入など住みづくりのための資金調達、または他の金融機関で借入れている住宅ローンのお借換えを目的としたローンです。	6,339	96.9%
くらしあっぷローン	ライフプランや目的に合わせて、マイカープラン、教育プラン、フリープラン、フリープランワイドの4種類をご用意しています。全て保証会社保証付の無担保・保証人不要のローンです。	113	96.9%
カードローン	当座貸越専用口座を開設するとともに、専用カードを交付し、そのカードにより現金自動支払機を利用して貸付けいたします。所定の極度額の範囲内であれば、反復して自由に借入可能なローンです。	265	94.2%
77モビット	上記カードローンのうち、消費者金融会社の（株）モビットと保証提携しているカードローンです。24時間365日、電話、郵送、ファックス、インターネット、携帯サイトで簡単に、かつ短時間で申込みいただけ、審査結果はスピード回答いたします。また、当行とお取引がなくても申込可能となっています。	51	97.0%

そのほか、居住用不動産に根抵当権を設定することにより反復してご利用できる資金使途が自由な「よゆうのローン」、各市町村と提携した提携ローンなどがあります。

取引チャネルの状況

◆ローンセンター

宮城県内7カ所に、住宅ローンを専門的に取扱う拠点としてローンセンターを設置しており、当行全体の取扱件数の5割弱を取扱っています。

なお、平成18年10月より、県内4カ所のローンセンターで土曜・日曜営業を、また、県内3カ所のローンセンターで日曜営業を始めており、より便利にご利用いただけるようになりました。

《ローンセンターの取扱状況：平成19年度上半期》

(単位：件、%)

		当行住宅ローン
当行全体の取扱件数	a	2,275
ローンセンターの取扱件数	b	1,095
ローンセンターの取扱比率	$b \div a$	48.1

◆休日ローン相談会

平日、銀行へのご来店が難しいお客さまに、お近くの支店にてローンに関するご相談の機会を提供するため、休日ローン相談会を開催しています。

《休日ローン相談会の開催状況：平成19年度上半期》

	開催回数	開催店舗数 (のべ)	ご相談者数 (のべ)
休日ローン相談会	6回	243カ店	428人

◆取引チャネルの多様化等

お客さまの利便性を高めるため、取引チャネルの多様化を進めています。

当行ホームページでは、窓口にご来店いただくことなく各種個人ローンのお申し込み(仮審査お申込)ができる「77ローンサービス」を行っております。※ご融資契約の際にはご来店が必要です。

また、当行ホームページには、住宅関連の総合情報を提供するサイト「77住まいづくり応援プラザ」を掲載しており、個人のお客さまのライフプランに合わせた各種情報やシミュレーション機能をご利用いただけます。

《取引チャネル別無担保ローン受付状況：平成19年度上半期》

(単位：件)

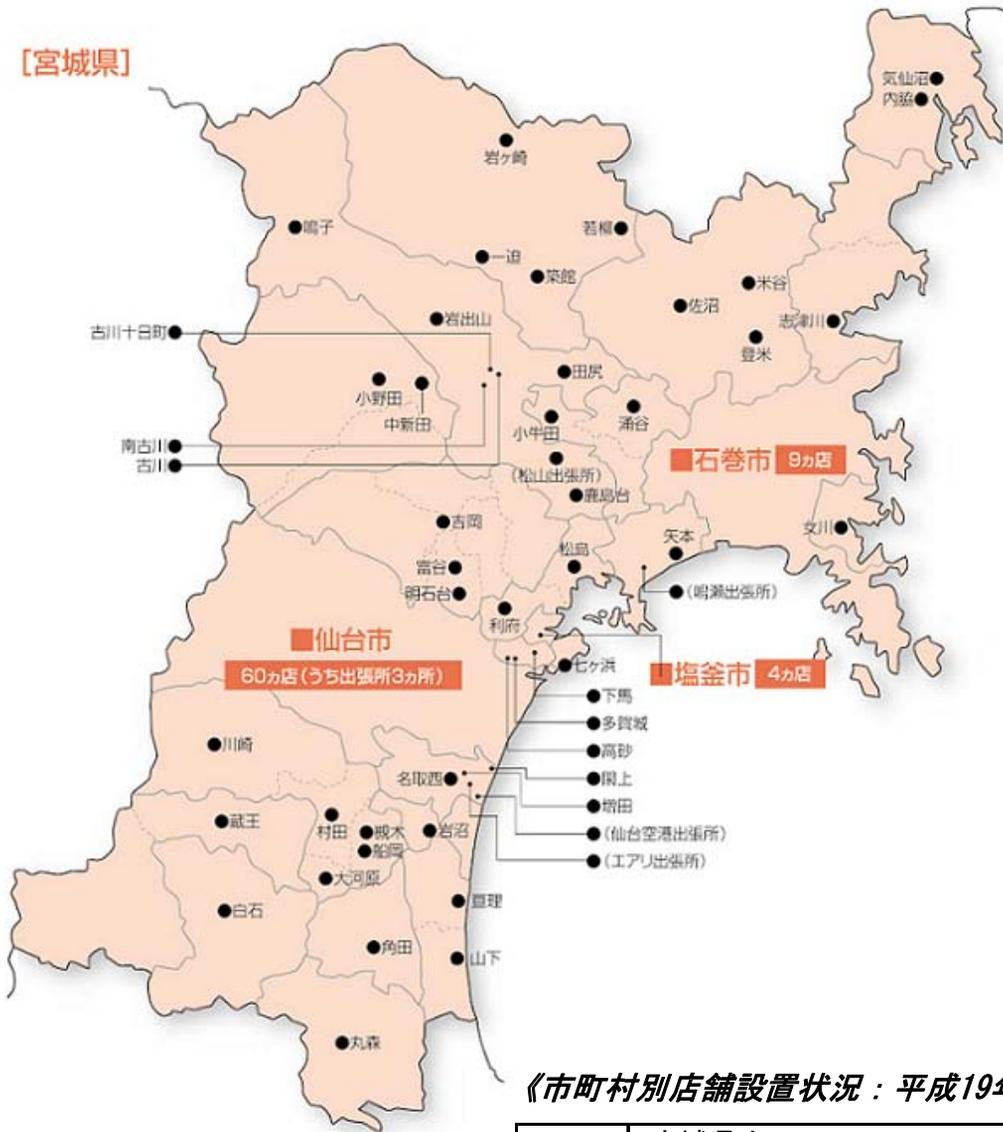
		くらしあっぷローン等	77モビット	合計	
店	頭	1,918	0	1,918	
電	話	—	1,945	1,945	
F	A	X	556	167	723
インターネット		356	244	600	
郵	送	738	230	968	
携帯サイト		—	611	611	
合	計	3,568	3,197	6,765	

(1) 店舗網等各種チャネルの整備

有人店舗の状況

◆店舗網

当行は、出張所を含め139カ店のうち、宮城県内に124カ店を展開しています。



	宮城県内		
	市町村数	当行店舗有	店舗数
市	13	13	103 カ店
町	22	18	21 〃
村	1	0	0 〃
合計	36	31	124 〃

◆お客さまのご来店状況

当行の宮城県内の店舗では、一日あたり約173千件のご利用をいただいています。

《お客さまご利用件数：平成19年度上半期》

	総ご利用件数	うち 宮城県内店舗 ご利用件数	一日平均	
			一日平均	一店舗平均
窓口ご利用件数	3.8 百万件	3.6 百万件	29,013 件	234 件
A T Mご利用件数	26.5 "	25.8 "	143,991 "	1,180 "
合計	30.3 "	29.4 "	173,004 "	1,414 "

※「窓口ご利用件数」は窓口での受付件数を、「A T Mご利用件数」は店舗内A T Mのご利用件数を示しています。

◆休日営業等への取組

当行では、お客様の利便性をより高めるため、休日営業や、営業時間の延長に取り組んでいます。各種ローンや定期預金、投資信託をはじめとする預り資産のご相談にお応えする「相談プラザ」については、営業時間を通常窓口より延長しているほか、「エアリ相談プラザ」、「明石台相談プラザ」では土・日・祝日も営業するなど、きめ細やかなサービスの提供に努めています。

また、当行では、個人のお客様のお借入に関するご相談に専門的に対応するローンセンター7カ所のうち、4カ所のローンセンターで土曜・日曜営業を、3カ所のローンセンターで日曜営業を実施するなど、より便利にご利用いただけるよう努めております。

《相談プラザ・ローンセンターの営業日・営業時間》

相談プラザ・ローンセンター名	営業日・営業時間
エアリ相談プラザ (「イオンモール名取エアリ」内)	年中無休：午前10時～午後10時
明石台相談プラザ（明石台支店内）	年中無休（12月31日～1月3日までを除く） 平日：午前9時～午後5時 土・日・祝日：午前10時～午後5時
仙台駅前相談プラザ（仙台駅前支店内） 新伝馬町相談プラザ（新伝馬町支店3階） 一番町相談プラザ（一番町支店2階）	平日：午前9時～午後7時
本店ローンセンター	平日：午前9時～午後3時 土曜・日曜：午前9時～午後4時30分
長町ローンセンター 泉ローンセンター 仙台東口ローンセンター	平日・土曜・日曜：午前9時～午後4時30分
古川ローンセンター 岩沼ローンセンター 石巻ローンセンター	平日：午前9時～午後3時 日曜：午前9時～午後4時30分

※本店、仙台東口、古川、岩沼、石巻の各ローンセンターへの土曜・日曜のご来店につきましては、事前の予約が必要です。

A T Mの状況

◆ A T Mネットワーク

当行は、宮城県内にキャッシュサービスコーナー355カ所（店舗内123、店舗外232）に、A T Mを880台設置しています。

また、セブン銀行と提携しており、全国のセブンイレブン等でキャッシュカードを利用した入出金・残高照会がご利用いただけます。

《キャッシュサービスコーナー、A T Mの設置状況(平成19年9月末)》

(単位:カ所、台)

	キャッシュサービス コーナー	A T M 設置台数		
		うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内
七十七銀行	371	355	909	880
セブン銀行	12,123	322	12,548	322

◆ A T Mの利用状況

当行の宮城県内A T Mは、一日一台あたり約300件のご利用をいただいています。

《A T Mのご利用件数：平成19年度上半期》

総合計	うち宮城県内キャッシュサービスコーナー			
	一日一台あたり		店舗内	店舗外
44百万件	43百万件	296件	261件	363件

(注) 店舗外A T Mを含めたご利用件数を示しています。

◆ 障害者対応A T Mの設置状況

当行は、障害者の皆さまにもより便利にご利用いただけるように42カ店に44台の音声案内機能付A T Mを設置しております。今後につきましても、障害者の皆さまにもより便利にご利用いただけるよう障害者対応A T Mの充実を図ってまいります。

休業日におけるお客さまのトラブル対応

偽造・盗難キャッシュカード被害の未然防止策として、お客さまからのキャッシュカード紛失・盗難等の事故のお届けを、24時間受付する体制を整備しています。

お通帳、キャッシュカード等の紛失等緊急の場合のご連絡先
(24時間365日受付)

フリーダイヤル [0120-77-1099]

※A T M操作時にトラブルが発生した場合は、キャッシュサービスコーナーに備付のガイドフォンをご利用下さい。

チャンネル多様化への取組状況

当行は、お客さまの多様なニーズにお応えして、店舗にご来店いただかなくとも直接ご利用いただけるよう、以下のようなダイレクトチャンネルを充実してまいりました。

◆テレホンバンキング

「〈七十七〉テレホンバンキング」は、電話による残高・入出金照会、振替、振込、新規口座の開設、定期預金作成・解約予約がご利用いただけるサービスです。お取引時間は平日の9時から19時までで、自動音声による対応とオペレーターによる対応があります。

また、あらかじめ登録された利用口座については、ご住所の変更手続や普通・貯蓄預金、カードローンの1日あたりのキャッシュカード払い戻し限度額の引き下げ等もご利用できます。

◆インターネットバンキング

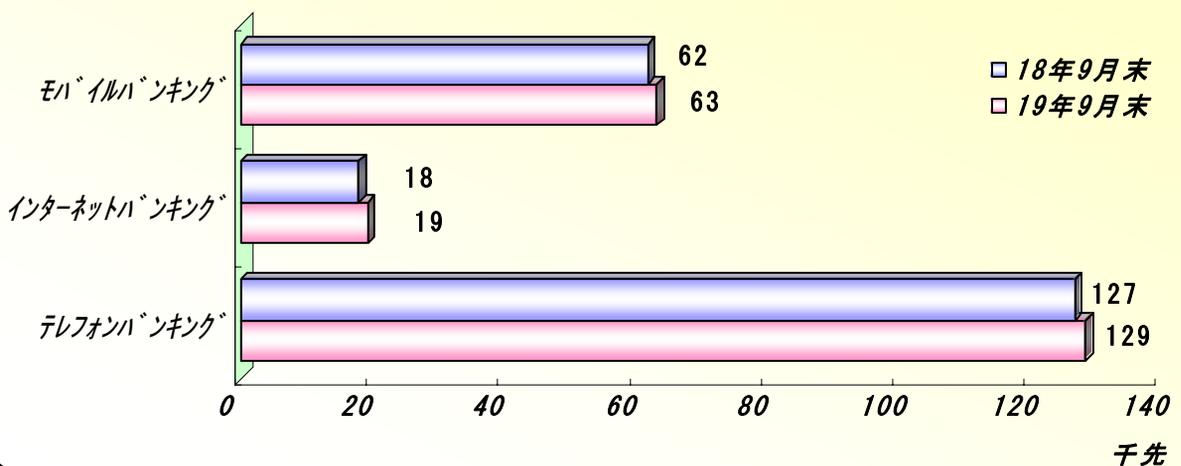
「〈七十七〉インターネットバンキング」は、お客さまのパソコンからインターネットによりお取引いただくサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、定期預金作成・解約予約が24時間いつでもご利用いただけます。

◆モバイルバンキング

「〈七十七〉モバイルバンキング」は、「iモード」、「EZWeb」、「Yahoo!ケータイ」対応の携帯電話でご利用いただけるサービスです。残高・入出金照会、振替、振込が24時間いつでもご利用いただけます。

当行のダイレクトチャンネル会員は、そのほとんどが宮城県にお住まいの方となっています(平成19年9月末のテレホンバンキング会員中、約98%が宮城県在住)。宮城県内にお住まいで当行に口座をお持ちの個人の方のうち、テレホンバンキング会員は約4%であり、今後とも、会員数の拡大をはかってまいります。

《ダイレクトチャンネルの宮城県内会員数》

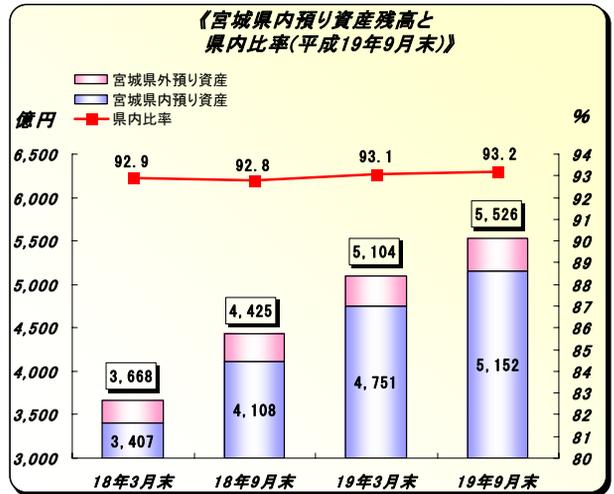
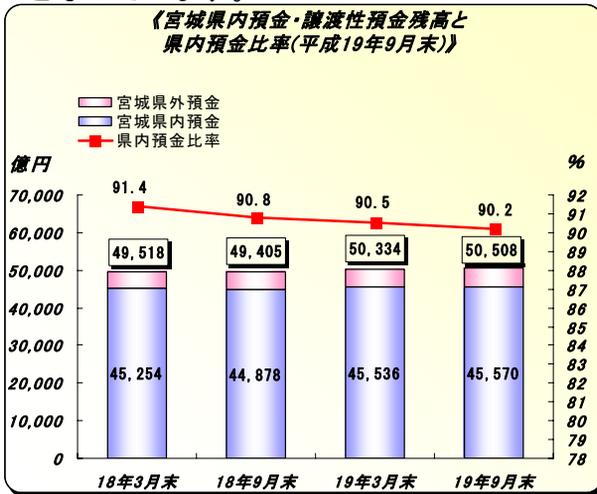


(注) モバイルバンキング、インターネットバンキング会員は、入会の条件として、テレホンバンキング会員である必要があります。

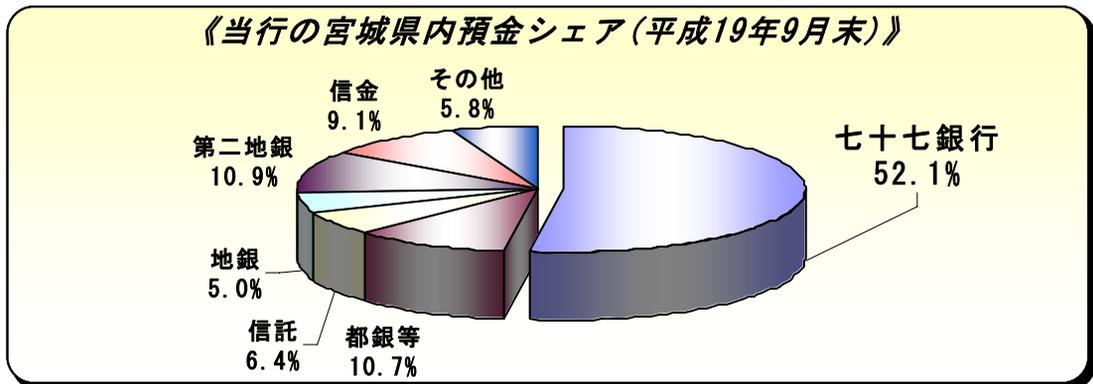
(2) 預金業務等

宮城県内の預金等の取引の状況

当行は、預金・譲渡性預金や投資信託等の預り資産のいずれも、その9割以上を宮城県内のお客さまからお預りしています。特に預金については、金融機関の健全性が重要視されるなか、地域のお客さまから高いご支持をいただき、宮城県内における預金シェアは52.1%となっています。



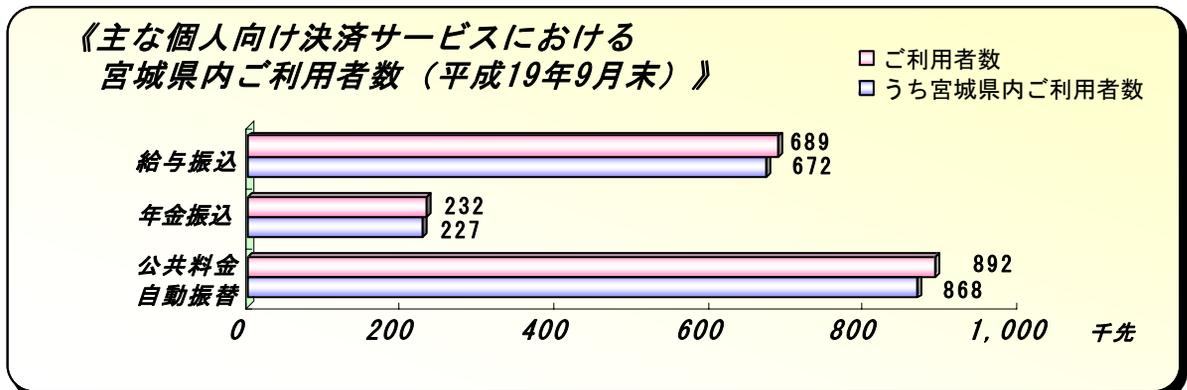
※預り資産には外貨預金を含んでおります。



(3) 決済サービス

主な決済サービスの宮城県内利用状況

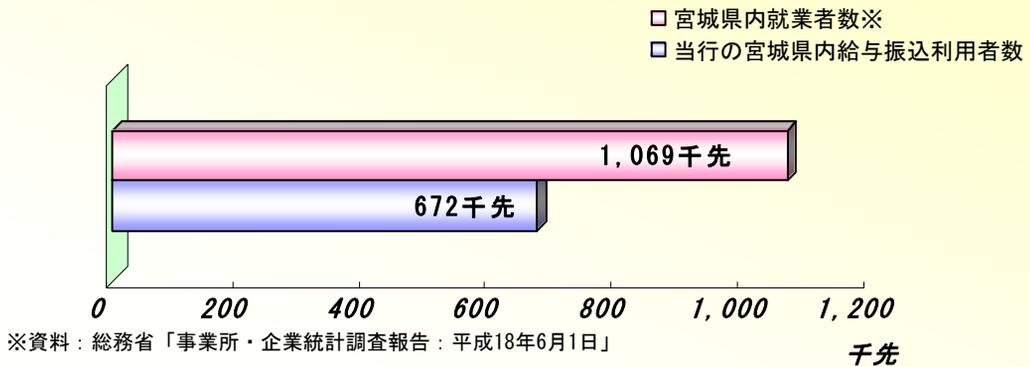
個人のお客さまにご利用いただく当行の主な決済サービスの97%以上は、宮城県内にお住まいのお客さまにご利用いただいています。



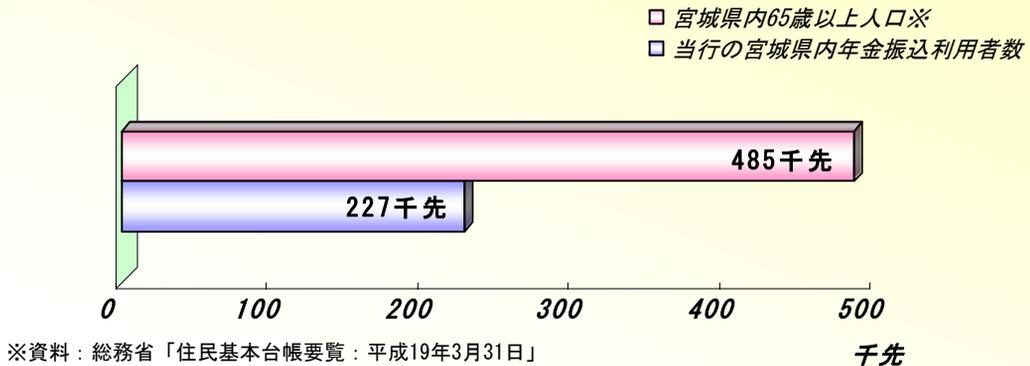
給与・年金振込利用者の当行利用状況

当行の口座を利用して給与を受け取る宮城県内のお客さまは、宮城県内就業者数の6割を超え、同様に年金を受取る皆さまは、宮城県内65歳以上人口の約5割となっているなど、地域の多くの皆さまから家計のメインバンクとしてご利用いただいています。

《宮城県内給与振込利用者数（平成19年9月末）》



《宮城県内年金振込利用者数（平成19年9月末）》



主な決済サービス

◆口座振替サービス

各種公共料金、保険料、税金、クレジット代金等を、お客さまの指定口座から自動的に支払うサービスです。

◆自動送金サービス

家賃や学費の仕送り等の定期的な支払いを、指定日に自動的に受取人の口座へ送金するサービスです。

◆カードサービス

加盟店でのショッピングや食事などの際に、現金を介さずにキャッシュカードで即時決済が可能となるデビットカードを取扱っています。

また、当行のグループ会社である「七十七カード」が発行する各77カード（JCB、VISA、Master）を取扱っています。

(4) その他のサービス

地域の皆さまへの情報提供

◆地元企業の研修会等のサポート

当行では、地元企業の皆さまに対し、企業経営・社員教育等に役立つような講演会や研修会を開催しています。また、お取引先企業への講師派遣を行っています。

《外部講師による講演会・セミナーの実績（平成19年度上半期）》

七十七経営戦略セミナー	平成19年5月、経営戦略を立案するうえで参考となる情報を経営者の皆さまに提供する「七十七経営戦略セミナー」を開催しました。今回は、事業承継とM&Aにかかる情報提供を目的として、講師に経営コンサルタントを招き、約100名の経営者の皆様にご出席いただきました。
夏季経済講演会	平成19年7月、財団法人七十七ビジネス振興財団との共催で、「夏季経済講演会」を開催しました。講師に国際基督教大学教授の八代尚宏氏をお招きし、「日本経済の動向と課題」について講演いただきました。当日は地域の皆さま約230名に出席いただきました。

《当行行員講師による講演会・研修会の実績（平成19年度上半期）》

調査部長等による講演会	お取引先企業7先に、調査部長・部員を派遣し、講演会・研修会で講演を行いました。
新入社員研修会	平成19年4月、本店ほか2会場にて合計7回開催しました。参加人数はのべ約320名で、社会人として必要な挨拶・電話応対等を中心に研修を行いました。
接遇対応研修会	お取引先企業など9先に対し、講師を派遣しました。

◆各種調査結果の公表

○「調査月報」(年12回発行)

宮城県内の経済・景気動向を調査・分析しています。HPでも公開しています。

○「県内企業動向調査」(年4回実施)

宮城県内約650社の企業を対象に、県内の景況感等の把握を目的としたアンケート調査を実施し、分析結果を公表しています。

○「相談実務」(平成19年度上半期 3回発行)

税務、法務等に関する情報提供誌を発行しています。

○その他タイムリーなテーマ等について調査・公表

平成19年度上半期は、「宮城県・県内市町村の将来推計人口」に関する調査を実施し、分析結果を公表しました。

◆「七十七『相続』相談ホットライン」の開設

高齢化社会の進展を背景とした相続に関連する相談ニーズの高まりにお応えするため、「七十七『相続』相談ホットライン」を開設しております。相談には、経営相談センターのスタッフが応えるほか、弁護士、税理士等の専門家へのお取次ぎも致します。

専門家と個別に契約する場合を除き、料金は無料です。どなたでもお気軽にご利用いただけます。

「七十七『相続』相談ホットライン」
フリーダイヤル [0120-7838-77]
受付時間 (平日 9:00~17:00)

◆年金講演会・相談会、資産運用セミナー、投資信託セミナー等の開催

お客さまに年金について十分ご理解いただくために、社会保険労務士による年金講演会・相談会を開催しています。

また、金融資産の運用に関する情報をご提供するために、当行のマネーアドバイザーや外部講師による資産運用セミナー、投資信託セミナーを開催しています。お客さまのご要望にお応えしながら、宮城県内各地で実施し、休日の開催も行っており、多くのお客さまに参加いただいています。

《年金講演会・相談会、資産運用セミナー、投資信託セミナー等の開催状況(平成19年度上半期)》

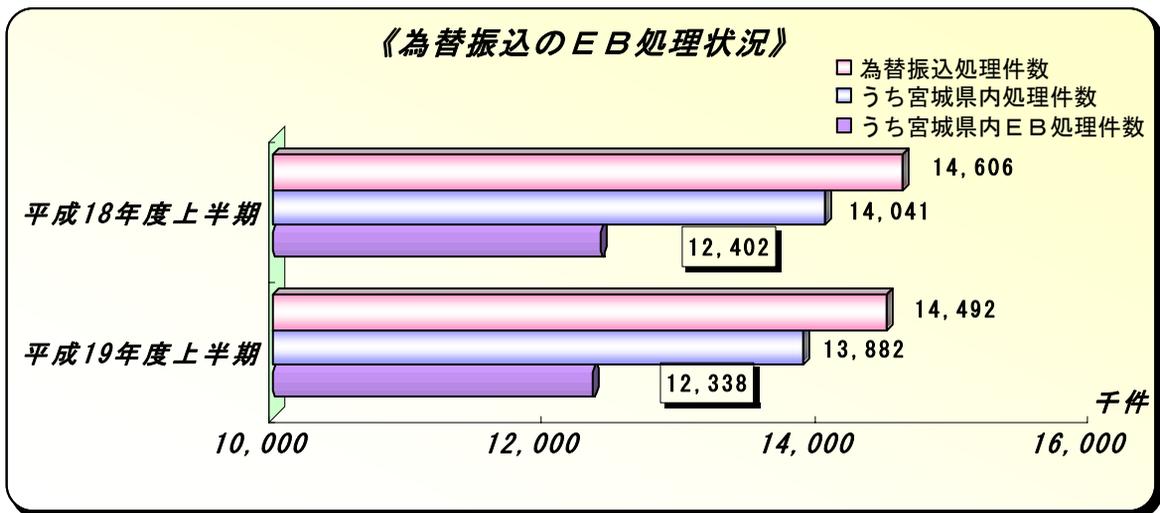
	休日資産運用相談会	年金講演会・相談会 (うち休日開催)	資産運用セミナー (うち休日開催)	投資信託セミナー (うち休日開催)
開催回数	6回	3回 (1回)	37回 (9回)	4回 (2回)
開催カ所 (累計)	243カ所	3カ所	18カ所	4カ所
参加人数 (累計)	155名	116名	533名	945名

E B等の推進

当行では、お待たせしない窓口づくりの一環として、為替振込等取引の電子化（E B）等を推進しています。インターネットバンキングなどのE B媒体やA T M等をご利用いただければ、窓口でお待ちいただくことなく取引できることに加え、窓口ご利用の場合と比べて振込手数料がお安くなります。

現在、当行の為替振込処理のうち約96%が宮城県内のお客さまからのご依頼分であり、そのうち約89%をA T M、インターネットバンキング、ファームバンキング等にてお取扱っています。

なお、ファームバンキング（F B）は法人・個人事業者向けサービスで、お客さまのパソコンや専用端末等により提供しています。



《F B契約先数（平成19年9月末）》

（単位：先）

F B契約先数	セブンメイト・セブンメイトPC		セブンメイトWeb	
	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内
16,428	15,331	5,451	5,261	5,310

その他のサービス

◆ 〈七十七〉ポイントセブン

〈七十七〉ポイントセブンは給与振込・年金振込などのお受取りや公共料金の自動支払いなどお客さまとの取引をポイントに換算し、合計ポイント数に応じてローン金利や手数料の優遇などの特典があるサービスです。

また、お客さまの指定する最大3店舗の取引ポイントを合算し、合算ポイント数に応じた優遇サービスを提供する「ポイント合算サービス」も取扱っています。

◆ 通帳盗難保険の付保サービス

公的年金の振込実績がある当行普通預金口座を対象とした「通帳盗難保険」付保サービスを行っています。付保対象となる通帳について、盗難・紛失によって不正に引出された場合の損害額を、1口座あたり年間200万円を上限に補償するサービスです。なお、保険料は無料で、公的年金の振込実績に基づき自動的に付保されるため、申込手続も不要です。

子会社等を通じた利便性の提供

◆リース業務

グループ会社の「七十七リース」においてリース業務を行っています。主として宮城県内企業に対し、ファイナンスリース等を取扱っています。

《宮城県内事業所に対するリース契約状況(平成19年9月末)》

リース契約先数(先)	うち宮城県内(先)	同比率(%)
4,163	3,781	90.8%

◆クレジットカード業務

グループ会社の「七十七カード」において、クレジットカード業務を行っています。JCB、VISA、Masterの各カードを取扱っています。

《宮城県在住の七十七カード個人会員の状況(平成19年9月末)》

	七十七カード 個人会員数(人)	うち宮城県内(人)	
		人数	同比率(%)
JCB	135,375	124,614	92.1%
VISA	44,647	41,266	92.4%
Master	2,768	2,535	91.6%
合計	182,790	168,415	92.1%

◆計算業務等の受託

グループ会社の「七十七コンピューターサービス」において計算業務等の受託を行っています。

《宮城県内事業所からの計算業務等の受託状況(平成19年9月末)》

	受託事業所先数(先)	うち宮城県内(先)	
		人数	同比率(%)
民間事業所	84	83	98.8%
地方公共団体	20	20	100.0%
その他	6	6	100.0%
合計	110	109	99.1%

◆労働者派遣業務

グループ会社の「七十七スタッフサービス」において労働者派遣業務を行っています。当行への派遣のほか、宮城県内企業に対する派遣を行っています。

(1) 地元企業のサポート

ビジネスマッチング

◆お取引先企業への情報提供

当行はお取引先の皆さまの経営を支援するため、ビジネスマッチングの情報提供とコンサルティング機能の充実に努めています。

宮城県内124カ店と県外15カ店の営業拠点(平成19年9月末現在)を活用し、お客さまからさまざまな情報やニーズをお受けしています。これらを、営業店網を通じて他のお取引先企業に提供し、お客さまの商談や経営効率化等につなげられるよう努めています。

○みやぎビジネス商談会

平成19年6月、お取引先の皆さまの新たなビジネスチャンスを生み出す場として、「みやぎビジネス商談会」を開催しました。宮城県の主力産業のひとつである食料品に絞って開催し、仕入企業・納入企業が延べ520件を超える活発な商談を行いました。



○地方銀行フードセレクション2007

平成19年11月、地銀8行(当行、北海道銀行、群馬銀行、常陽銀行、静岡銀行、千葉銀行、八十二銀行、北陸銀行)が連携し、「地方銀行フードセレクション2007」を東京で開催しました。昨年に引続き開催されたこの合同商談会は、お取引先の首都圏への販路開拓ニーズを受けたもので、参加したお取引先引先の皆さまにより、来場した流通・外食等の仕入れ企業に対し、こだわりの食材の幅広いPRが行なわれました。

○「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の支援

当行は、今後とも商談会の機会の創出を通じて、地域の皆様のニーズにお応えするとともに、商談会を通じ、宮城県等が実施する大型観光宣伝事業「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」への協力を進めていきます。



○77 BUSINESS SUPPORT

「77 BUSINESS SUPPORT」

は、当行ホームページにおいて企業活動に資する情報をお取引先企業に無料で提供する会員制サイトです。このサイトでは、全国の地方銀行の会員間で営業情報を共有しビジネスに結びつけるコーナーや、ニュース・経営情報等を常時提供しています。



地元企業の経営相談等への取組状況

◆経営相談

「経営相談センター」では、お電話や営業店を通じ、企業の皆さまから法律・経営・財務・税務に関するご相談をいつでも無料で受けており、このうち9割は宮城県内企業からのご相談となっています。また、毎週特定日には専門家による無料相談も行っています。

《宮城県内企業からの経営相談実績(平成19年度上半期)》

- 相談受付件数：合計295件（うち囑託専門家：85件） その他
15

法律 75	経営・財務 110	税務 95	
-------	-----------	-------	--

(単位：件)

- 報告書・提案書作成件数：合計42件

事業承継 18	経営診断 24	(参考) 個人向け相談 27
---------	---------	-------------------

(単位：件)

- (注) 1. 事業承継とは、自社株の評価等事業の承継等に関する相談をいいます。
2. 経営診断とは、財務分析、事業開始に伴う商圏・業界調査等に関する相談をいいます。

◆海外取引等のサポート

- 上海駐在員事務所によるサポート

経済の国際化と産業構造の変化に伴い、地元お取引先企業の中国に関係するビジネスが増加し、現地に進出する企業も増加しております。上海駐在員事務所では、こうした中国に関する地元お取引先企業のニーズに対応し、きめ細かいサポートを行っております。

- 上海合同商談会の開催

平成19年6月、お取引先企業の中国における部材調達や販路開拓をサポートするため、中国上海市にて地方銀行11行合同で「全国地銀合同商談会 in 上海」を開催しました。商談会では、のべ3千件を超える商談が行われました。



- 海外ミッションの派遣

海外進出や海外取引を希望するお取引先企業を対象として、海外への視察団（海外ミッション）を派遣し、現地の経済情勢や投資環境等の視察・調査を行っています。平成8年の開始からこれまで11回の派遣を行っており、毎回15社前後のお取引先企業が参加しています。



○ セミナーの開催等

地元企業の皆様に、海外の経済情勢、投資環境等の情報提供を目的として、セミナーの開催や、情報誌「ワールドクォーターリー７７」の発行を行っています。

◆ 地元企業への人材派遣

当行の平成19年9月末の外部出向者29名のうち、約8割にあたる22名を宮城県内企業に派遣しています。

《宮城県内企業への人材派遣実績（平成19年9月末）》

(単位：人)

外部出向者数	うち宮城県内企業	同比率
29	22	75.9%

(注) 当行のグループ会社、関連団体への出向者を含みません

地元企業再生への取組状況

当行では、企業活力を十分に発揮できていないお取引先企業の「早期再生」支援の強化、ひいては地域経済の一層の活性化に寄与するため、審査部に「企業支援室」を設置しています。

併せて、お取引先企業の経営に対する指導・助言を強化する「ランクアップ活動」を実施しています。

また、事業再生への取組にあたっては、「中小企業再生支援協議会」や、各種再生手法も活用しています。

《ランクアップ活動の状況（平成19年度上半期）》

(単位：先、億円)

ランクアップ内容	先数	与信額
経営改善支援の取組先数	477	1,870
要管理先から上位区分へ	6	45
要管理先以外の要注意先から正常先へ	12	28
合計	18	73
うち宮城県内取引先 (宮城県外本社の上場企業を除く)	18	73

(2) 企業の育成への取組み

企業育成への取組状況

◆ 創業企業等への投融資の状況

当行では、地域金融機関として地元中小企業を育成する観点から創業（ベンチャー）企業等に対し、以下のような融資制度、投資事業を行っています。

77ニュービジネス支援資金	ご融資金額1億円以内で、新技術の開発や新分野への進出等における研究開発資金、事業展開資金としてご利用いただけます。また産業クラスター計画関連等の補助金や委託費の交付決定先企業を対象に「つなぎ資金」の取扱いも行っております。
宮城県等の各種制度融資	宮城県の創業育成資金、仙台市の新事業創出支援融資制度等の創業企業向け各制度融資を積極的に活用しています。
ベンチャー育成ファンド「あおばサクセス番号投資事業有限責任組合」	平成15年3月に設立された投資事業組合で、みやぎ産業振興機構のほか、当行をはじめ宮城県内大手企業等13団体が5億4,000万円を出資し、宮城県内の産業振興、雇用対策を目的に、宮城県を中心とした東北6県等に本社を置く企業に投資することとしています。
産学官連携ベンチャーファンド「東北インキュベーション投資事業有限責任組合」	平成16年3月に設立された投資事業組合で、当行をはじめ宮城県・仙台市ほか12団体が31億8,000万円を出資し、東北地域における新規事業の創出および中小企業等の成長支援を目的に投資することとしています。
ベンチャー企業等投資ファンド「東北グロース投資事業有限責任組合」	平成18年8月に設立された投資事業組合で、当行をはじめ東北経済連合会ほか20団体が35億8千万円を出資（※）し、東北地域におけるベンチャー企業および第二創業を行う既存企業の成長支援を目的に投資することとしています。 ※平成19年9月30日現在

◆ 商工会議所等との提携

当行では、地域金融機関として地元取引先企業に対する経営相談・支援機能の取組強化の観点から、県内各商工会議所および宮城県商工会連合会との提携を行っています。提携商工会議所等の会員は、特定の融資商品について優遇金利でご利用いただくことができます。

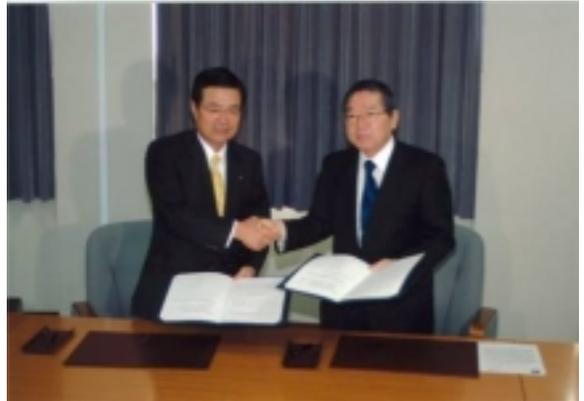
《宮城県内商工会議所等との提携実績（平成19年9月末）》

提携先	提携融資商品	宮城県内取扱実績
仙台商工会議所	77ビジネスローン 〈フォワード30〉 〈アクティブ10〉 〈アクティブ30〉	430件/ 3,858百万円 (平成19年9月末)
石巻商工会議所		
塩釜商工会議所		
古川商工会議所		
宮城県商工会連合会		
気仙沼商工会議所		

産学連携への取組み

当行は、産学の連携を通じた地域の発展と地域経済の活性化に資することを目的とし、国立大学法人東北大学と連携協力に関する協定を締結しています。

これに基づき、相互の専門能力及び人材等を活かし、大学の研究成果の事業化や地域企業への情報提供および技術協力、産学連携を担う人材の育成等を通じて、地域における産学連携の一層の推進に貢献してまいります。



東北大学との連携協力協定の主な内容

東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援
東北大学のシーズと地域企業とのマッチングコーディネート
七十七銀行の取引先企業からの技術相談
相互の人材交流
講演・セミナー等の開催

財団法人七十七ビジネス振興財団

当行は、宮城県の産業振興と経済発展への貢献を目的として、平成10年4月に「財団法人七十七ビジネス振興財団」を設立しております。

同財団では、評価の高い商品・サービス、優れた技術力・経営手法をお持ちの企業を対象とした「七十七ビジネス大賞」と、新規性や独創性のある技術やノウハウ等により積極的な事業展開を行っている企業および新規事業活動を志している起業家を対象とした「七十七ニュービジネス助成金」の表彰事業（年1回、11月）を行っております。また、講演会やセミナーの開催のほか、情報誌の発行などを行っております。

第9回七十七ビジネス大賞受賞企業

- 株式会社阿部長商店 (気仙沼市)
- 株式会社カネタ・ツーワン (仙台市若林区)
- 株式会社カルラ (黒川郡富谷町)

第9回七十七ニュービジネス助成金受賞企業

- 株式会社アイ・ティ・リサーチ (仙台市泉区)
- デジタルパウダー株式会社 (仙台市青葉区)
- ライズ株式会社 (仙台市宮城野区)



(3) 地方公共団体の事業との関係

指定金融機関業務の受託状況等

宮城県および県内36市町村併せて37地方公共団体のうち、指定金融機関と指定代理金融機関を合わせて35団体から公金取扱業務を受託しており、公金の収納や支払等の事務を行うなど、広く県内の皆さまにご利用いただいています。

また、当行は、ATMネットワークにおけるエリア内の拠点性を考慮し、地方公共団体や関連施設へATMを設置しています。

《宮城県内地方公共団体からの指定金融機関業務の
受託状況(平成19年9月末)》(単位:先)

「指定金融機関」 を受託 28	「指定代理金融 機関」を受託 7	指定なし 2
-----------------------	------------------------	-----------

《宮城県内地方公共団体へのATM設置状況(平成19年9月末)》
(単位:先、台)

	ATM 設置先数	ATM 設置台数
庁内支店	2	7
店舗外ATM	42	46
合計	44	53

地方公共団体向け資金供給の状況

当行は、豊かで住みよい街づくりのために、地方公共団体に対し円滑な資金供給に努めており、道路や病院、学校等の整備事業や福祉の向上など地域社会の発展に積極的に協力しています。

地方公共団体向け貸出の状況

平成19年9月末現在、当行は宮城県内37の地方公共団体のうち、34団体に貸出を行っています。

《宮城県内地方公共団体向け貸出金等の状況》

(単位:先、億円)

	貸出金		(参考)預金・譲渡性預金	
	取引地方公共団体数	残高	取引地方公共団体数	残高
平成18年9月末	34	4,793	36	2,587
平成19年9月末	34	5,609	36	2,772

(注) 特別地方公共団体、地方公社との取引を除きます。

地方債の引受状況

当行は、地方公共団体の発行する銀行等引受債や市場公募地方債、共同発行公募地方債を引受しています。平成19年上半期は、共同発行公募地方債を約9億円引受しました。

《共同発行公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	共同発行公募地方債発行総額		
		うち宮城県・仙台市調達分	うち当行引受額
平成18年度上半期	6,630	360	20
平成19年度上半期	6,060	300	9

地方公共団体関連事業への人材派遣

当行の地方公共団体関連事業への人材派遣実績は、平成19年9月末で4名となっています。

PFI事業への取組み

財政負担の軽減と公共サービスの質の向上を図るため、宮城県や県内市町村においてもPFIによる公共事業の実施検討が増加しています。

県内では、既に6つの案件が事業を開始しており、当行はうち1件について事業者のメイン行かつアレンジャーとして資金提供のとりまとめを行うとともにエージェント業務を行っており、他の3件について融資金融機関として参加しています。

<取組実績>

- ・ 仙台市 / 余熱利用施設建設案件(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・ 東北大学 / 寄宿舍建設案件(融資金融機関)
- ・ 石巻地区広域行政事務組合 / 消防本部庁舎移転案件
(融資金融機関、コ・アレンジャー)
- ・ 仙台市 / 天文台施設建設案件(融資金融機関、コ・アレンジャー)

当行は、今後もPFI案件に取組む宮城県内地方公共団体や参加を希望する地元企業に対して、ノウハウの提供と積極的な支援を行ってまいります。

地域環境の保護

当行は、地域環境を保護するために、さまざまな取組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙の利用や処分文書の再生処理(平成19年度上半期は294トン)など日常的な環境負荷の軽減にも留意しています。

また、環境事業に取り組む企業に対する融資に取り組んでいるほか、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど、環境に配慮した金融商品も提供しています。

○夏の軽装勤務(クールビズ)の実施

平成19年7月から9月、地球温暖化防止「国民運動」や「仙台・みやぎクールビズ宣言2007」に賛同し、電力使用量の削減による二酸化炭素排出削減に一層の貢献を行なうため、「夏の軽装運動(クールビズ)」を実施しました。

社会福祉への貢献

「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、31年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

「クリーンキャンペーン」への参加

平成19年8月、当行から約50名(会員企業合計約240名)が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしました。

車椅子の寄贈

毎年、運動本部(東京)から車椅子の提供を受け、県内の社会福祉施設に寄贈しています。当行は事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行っています。



社会福祉施設等の慰問

県内の老人保健施設等を訪問し、唄や踊り、津軽三味線といった演芸を披露するなど、施設の方々とともに和やかなひとときを過ごしています。

愛の募金会

「七十七愛の募金会」は、当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝を表すため、平成6年に、社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。

平成19年度上半期は、12団体に総額170万円の寄付を行いました。



社会福祉団体への加盟等

当行は、宮城県社会福祉協議会への加盟をはじめ、各種社会福祉活動団体・防犯団体等に参加しており、社会福祉活動等の企画・運営に携わっています。

ピンクリボンフェスティバルへの協賛

当行は、乳がん対策の重要性を訴えるピンクリボン活動の社会的な意義を踏まえ、地域での乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を伝えるため、平成19年10月に実施された「ピンクリボンフェスティバル2007」に協賛企業として参加するなど積極的な支援を行なっています。

七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童全員に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成19年度新入学児童向けとして、本年も宮城県内全ての小学校に合計約2万2千枚を贈呈しました。

地域との交流

地域行事への参加、協賛

宮城県では、仙台七夕まつりをはじめ、さまざまな地域行事が開催されています。平成19年度上半期は、仙台青葉まつりなど5つのお祭りに約270名の当行役職員が参加しました。さらに各営業店では、営業地域内のお祭りへの参加や七夕飾りの出展、所属商工会を通じた地域行事への参画など、地域の皆さまとの交流を図っています。

また、当行は仙台七夕まつり、仙台青葉まつりなど、地域の各種行事への協賛も行なっています。



仙台青葉まつり

ロビー展の開催

地域の皆さまとの交流をはかるため、営業店のロビーを開放してお客さまの写真展や絵画展を開催するなど、地域のさまざまな活動を紹介しています。平成19年度上半期はのべ4ヵ店でロビー展を開催しました。

七十七銀行金融資料館

七十七銀行金融資料館は、当行の創業120周年を記念して、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、開設したもので、お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済についてわかりやすく紹介しています。平日の午前9時から午後3時まで開館しています。

文化活動の後援

公演・展覧会への協賛

当行では、地域におけるコンクール、演奏会、展覧会などに協賛金を提供し、地域の文化振興に貢献しています。

ふれあいコンサートの開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに仙台フィルハーモニー管弦楽団の迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。

平成19年度は、通算39回目となるコンサートを宮城県東松島市で開催し、地域の小中学生約700名を招待しました。

スターライトシンフォニーの開催

仙台の冬の風物詩として定着した“SENDAI光のページェント”の参加企画として、平成3年より、「七十七スターライトシンフォニー」を開催しています。

毎回、著名なアーティストが出演しており、今年度は「渡辺真知子 with 稲垣潤一 スペシャルナイト 演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団」と題し、地域の皆さまにお楽しみいただく予定です。

当日は一般応募者の中から、抽選で1,600名の地域の皆さまをご招待するほか、約30名の交通遺児のご家族の方々もお招きします。また、広く社会福祉に役立てていただけるよう、会場ロビーにおいてチャリティー募金を実施いたします。

スポーツの振興

地域スポーツへの協賛

仙台国際ハーフマラソン、市民マラソンin仙台への協賛

当行は、仙台市で開催される「市民マラソンin仙台」、「仙台国際ハーフマラソン」の両大会に協賛しています。スタッフジャケットやゼッケンを提供しているほか、交通規制看板の設置などに協力しています。

地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ/ベガルタ仙台およびプロ野球パシフィックリーグ/東北楽天ゴールデンイーグルスのオフィシャルスポンサーとして両チームの活動を応援しているほか、2007-2008シーズンより、バスケットボールbjリーグ/仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして協賛を開始するなど、地域のスポーツ振興への一層の貢献に努めています。

小中高生に対する技術指導等

役職員が運動部を組織しており、硬式野球部による野球教室や、陸上競技部による記録会の開催、バドミントン部による技術指導教室の開催を通じて、地域の小中学生や高校生に直接指導を行い、地域との交流をはかるとともに、スポーツ技術の向上に寄与しています。

企業スポーツとしての大会参加

当行運動部の主な戦績は以下のとおりです。

硬式野球部

- ・第39回JABA東北大会 優勝
- ・第78回都市対抗野球大会出場 ほか

陸上競技部

- ・第91回日本陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第2位 ほか

バドミントン部

- ・第50回全日本社会人選手権大会
女子ダブルス 第3位 ほか

